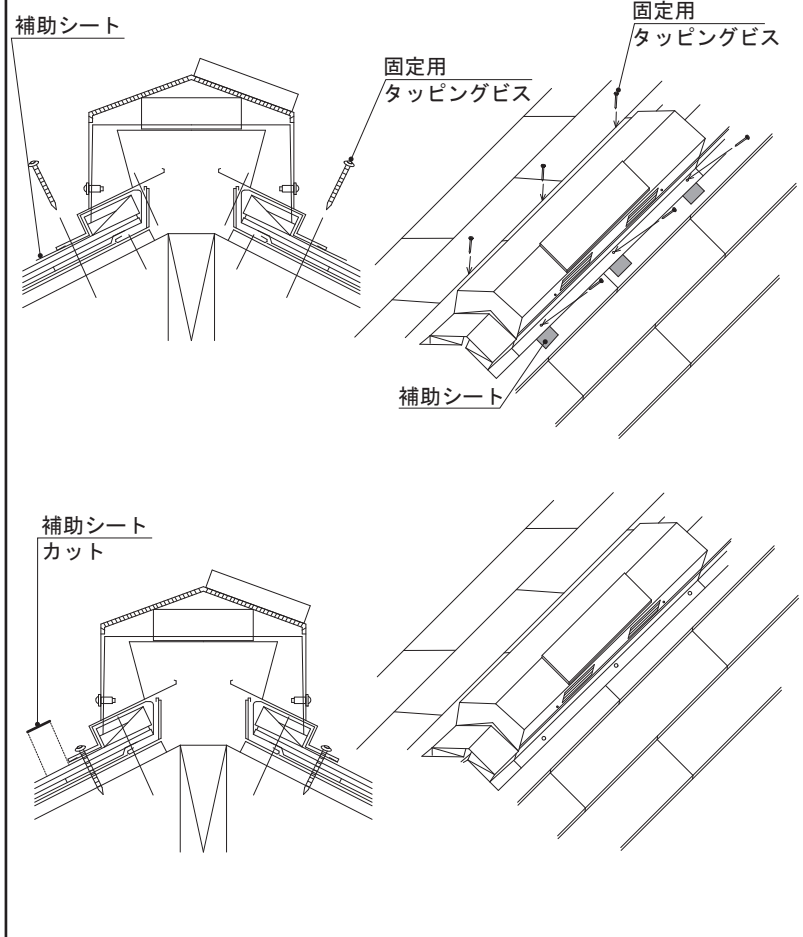


ソーラー換気棟施工説明書

⑦ 本体下部の補強

- 本体下部のビス穴に合わせて、ドリルで屋根材に下穴を開けて下さい。
- ビス穴部分に補強シートを敷いて、固定用タッピングビス (L=35mm) を取り付けます。(補強シートは裏面の養生紙をはがし、粘着面を下にします。)
- 本体下部のつば部分からはみ出た補強シートは、切断して取り除いて下さい。



安全上のご注意

ソーラー換気棟の施工工事前に、この安全上のご注意をお読みの上、正しい施工工事をしてください。

表示内容の無視は、大変危険です。

表示内容が無視して誤った工事をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「負傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」です。

お守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



行ってはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告

- ❗ 作業時は、必ず安全帯を装着してください。
- ⊘ 雨や露で屋根面が濡れている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- ⚠ 屋根上の歩行時は、屋根材の上下の重ね目を踏んでください。割れている所を踏むと滑落する恐れがあります。



注意

- ❗ 屋根面に足場を組む場合は、必ず養生板を敷いてください。
- ⊘ けらば、壁際、谷板付近の屋根材を踏み込まないでください。
- ⊘ 棟包、けらば水切り、壁際などの役物を踏み込まないでください。
- ⊘ 屋根面に直接釘などを打たないでください。
- ⚠ 塗料やシーリングなどで、屋根面を汚さないよう養生板を敷いてください。汚れを溶剤などで落とすことはできません。

※ 施工される方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

株式会社 太田製作所

〒271-0064 千葉県松戸市上本郷159番地

TEL 047(363)6281~2
FAX 047(362)4341

I. 適用範囲

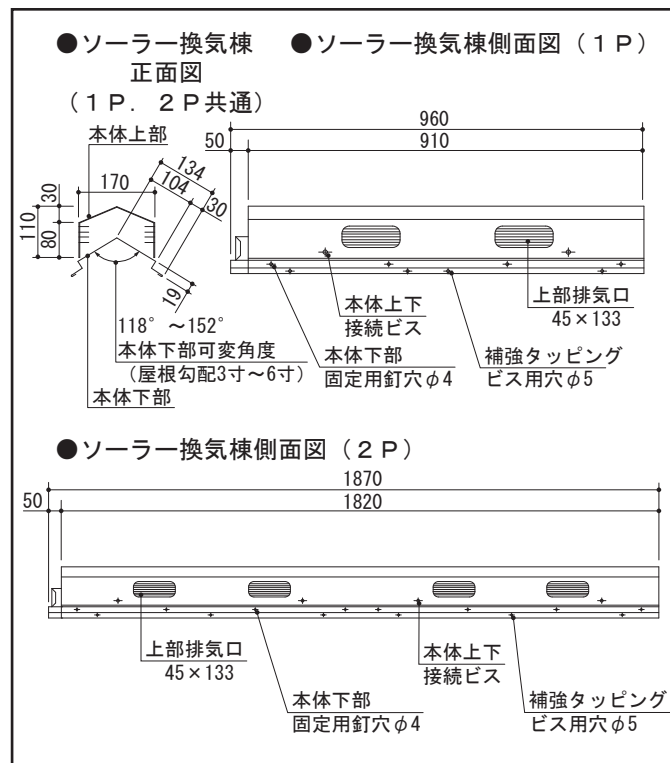
- 平棟部専用のソーラー換気棟です。
※ 隅棟部には、使用できません。
- 年間平均最深積雪量が100cm以下の地域でご使用いただけます。
- 海岸近傍、温泉など環境条件の厳しい場所でご使用する場合は、錆などを防ぐため、メンテナンスにご注意してください。

II. 取付基準

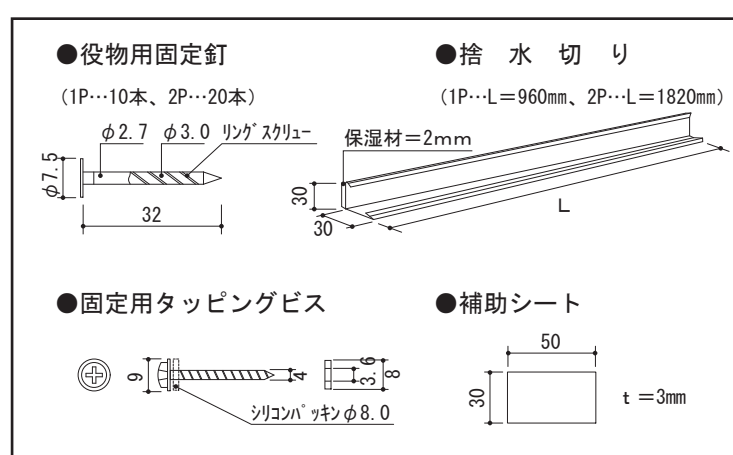
- 屋根勾配が3/10~6/10の屋根に対応できます。
- 取付数量は、住宅金融公庫融資住宅・工事共通仕様書に記載の基準値に準じてください。(右図)
- 平棟部の最低長さは、両端に棟包の加工寸法が150mm程度が必要となります。(換気棟長さ+300mm)

III. 商品仕様

■ 本体寸法・形状

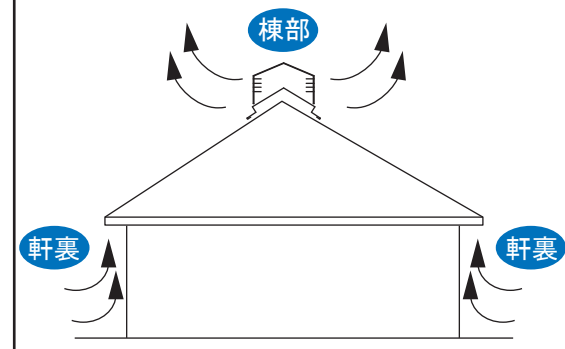


■ 付属寸法・形状

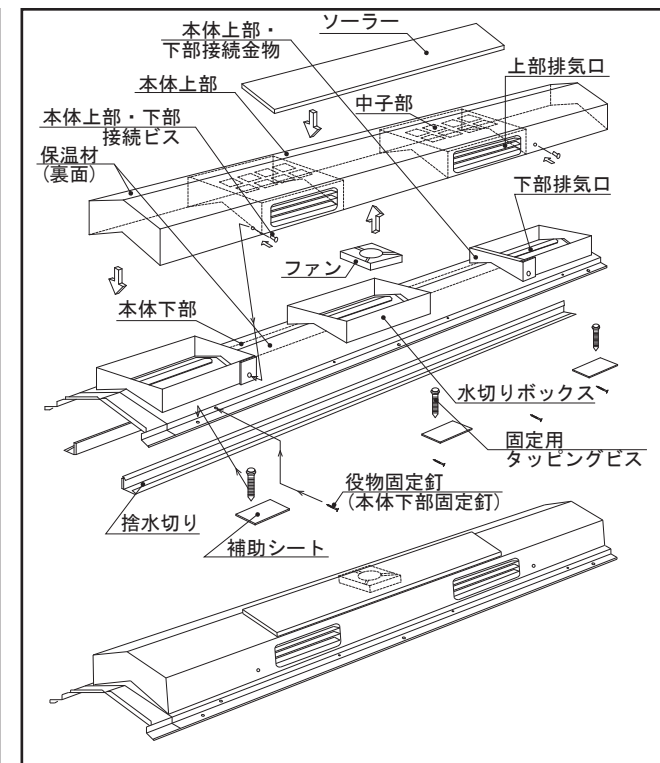


棟部に排気孔を設ける場合、下記の面積としてください。

棟部の換気孔：天井面積の1/1600以上の面積
軒裏の吸気孔：天井面積の1/900以上の面積



■ 組立図



■ 仕様概要

機種名	有効換気面積	有効長	幅	高さ
ソーラー換気棟 1P	150cm ²	910mm	170mm	110mm
ソーラー換気棟 2P	300cm ²	1820mm	(本体上部片面)	(換気棟全高)

■ 部品主材料・梱包単位

名称	入数
本体上部	1体
本体下部	1体
本体上・下部接続ビス	1P-4本 2P-8本
捨水切り	2本
役物固定釘	1P-10本 2P-20本
固定用タッピングビス(シリコンパッキン付)	1P-7本 2P-13本
補助シート	1P-6枚 2P-12枚

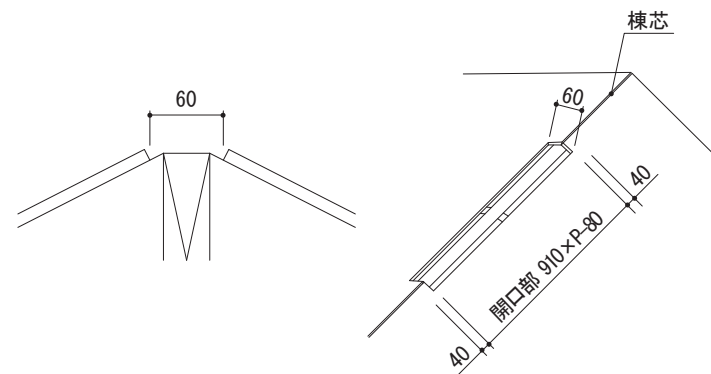
IV. 施工手順

①野地板の開口

- 換気棟部の野地板に、排気用の開口部を開けて下さい。

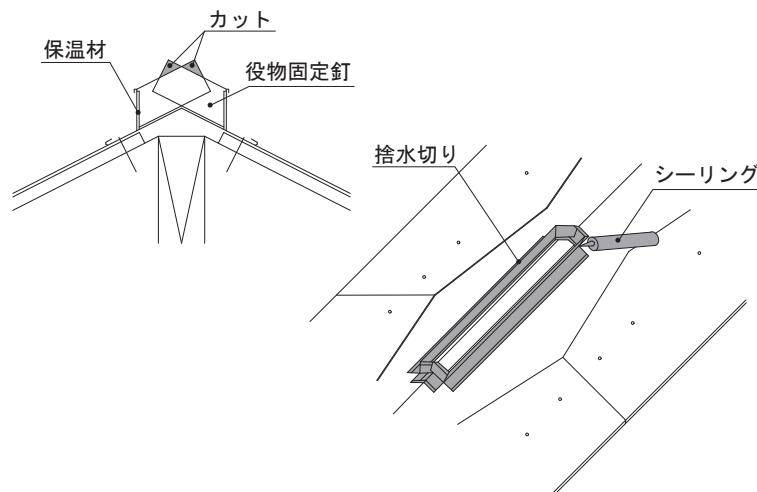
〈開口部サイズ〉

	0.5P (375mm)
長さ方向 (910×P-80)mm	1P (830mm)
	2P (1740mm)
幅方向	60mm



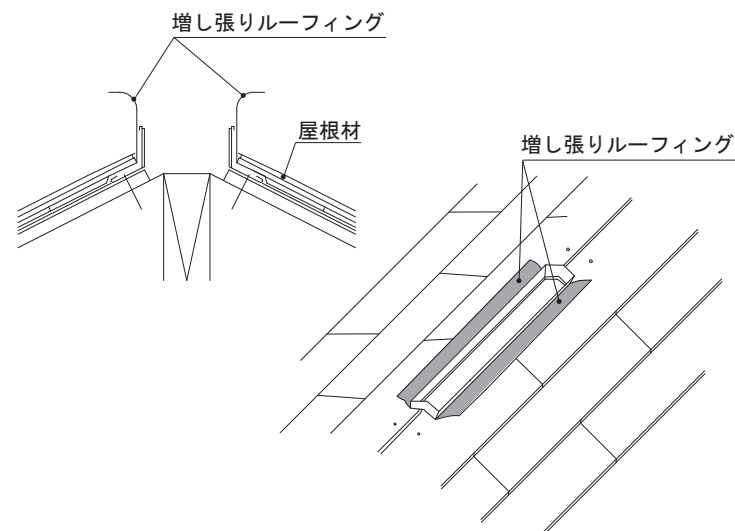
②捨水切りの取付

- 棟芯まで下葺材を張って下さい。
(開口部の下葺材は切り取って下さい)
- 野地板の開口部に合わせて、捨水切りを取付けて下さい。
(保温材の付いている方を、立上がり側にして取付けて下さい。)
- 捨水切りの折曲部はシーリングをして下さい。



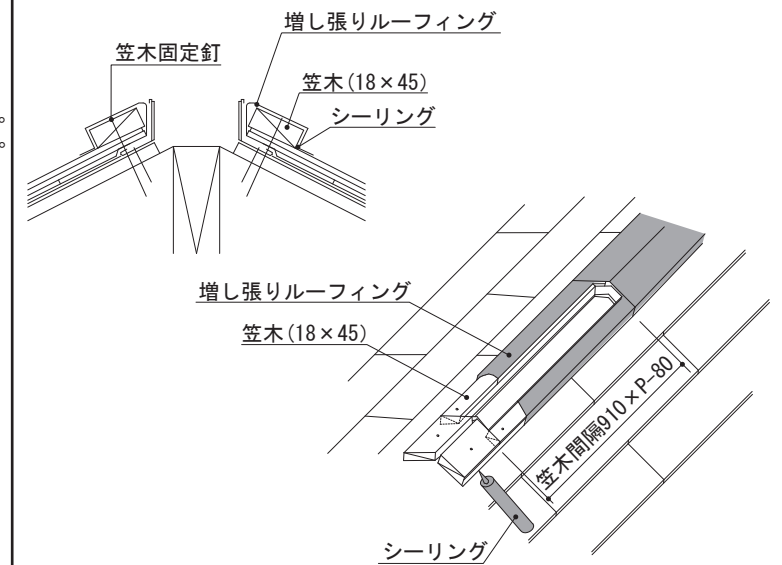
③増し張りルーフィング

- 捨水切りの上に増し張りルーフィング (約450mm) をし、上部は100mm程度伸ばしておいて下さい。
- 屋根材を捨水切りまで葺き上げて下さい。



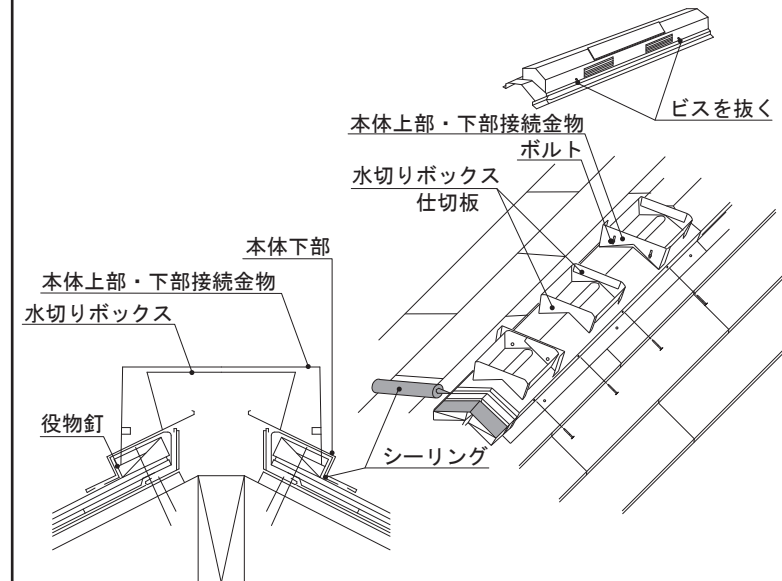
④笠木の取付

- 棟包の幅で所定の笠木を取付けて下さい。
棟換気部 (捨水切りをいれた部分) …18×45
一般棟部 ……18×90
- ※18×45の笠木は防腐処理した木材をご使用下さい。
- 笠木は釘 (75~90mm) で垂木に固定をして下さい。
- 笠木のきわにシーリングをして下さい。
- 増し張りルーフィングを折り返し、笠木を覆って下さい。



⑤本体下部の取付

- 棟包 (受側) を笠木に固定します。
(棟包の重なり寸法は50mm以上として下さい。)
- 棟包のジョイント部もシーリングをして下さい。
- 換気棟の本体上部をビスを抜いて取り外し、本体下部を棟包にかぶせます。
(取り外したビスは再度使用しますので無くさないように注意して下さい。)
- 本体上下接続金物のボルト・ナットを緩めます。その際、水切りボックス仕切板を持ち上げ、換気棟下部の角度を屋根勾配に合わせて下さい。
- 接続金物のボルト・ナットをしっかりと締め付けます。
- 本体下部を役物釘で約300mmピッチで笠木に固定します。



⑥本体上部の取付

- 換気棟の本体上部を本体下部にかぶせ、ビスを横から留め付けます。

